

最上町の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

本町の人口は約7,200人で、少子高齢化による人口減少に歯止めがかけられない状況にある。生徒数の減少により、単独で部活動ができない部もあり、近隣市町村中学校との合同チームを編成し活動を行っている。

現在の部活動改革状況として、町教育委員会へクラブ登録を行い、保護者会や地域指導者が主体となり休日のクラブを行っている。平日は従来の部活動とクラブによる活動を行い部活動の地域展開を進めている。一方で、指導者の人材確保や、多様なニーズ対応できるクラブ体制を整備することなどさらなる取り組みを考える必要がある。

地域クラブ活動等の概要

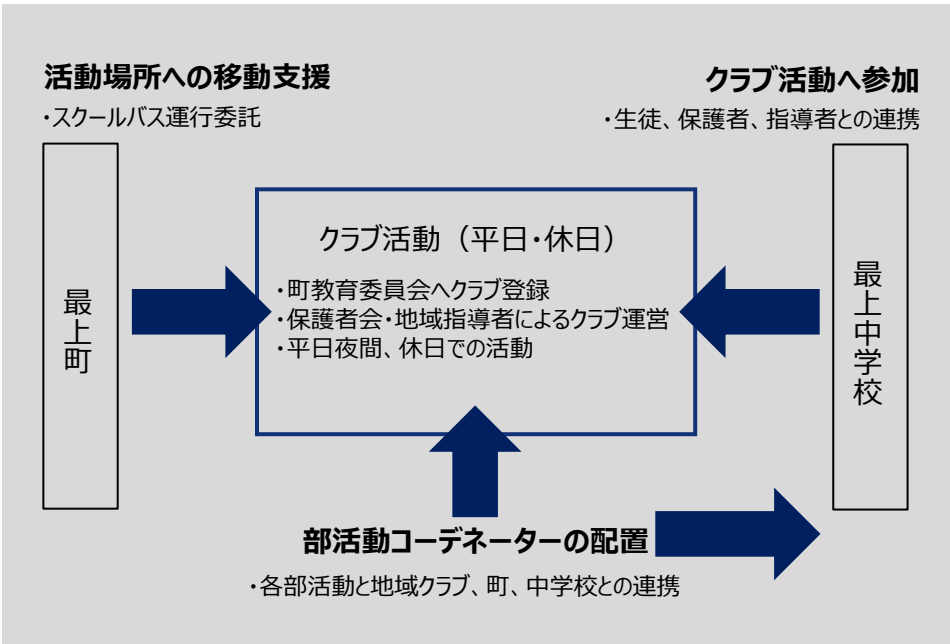
中学校数	1校	全生徒数	178人
域内の部活動数	9部	実施した地域クラブ数	8クラブ
全体の指導者数	18人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	スポーツ少年団、保護者会		
主な種目	軟式野球、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、スキー		
平均的な活動回数	8回/月	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：5人/クラブ 1年：5人/クラブ
参加会費	3,000円/年	主な活動場所	最上中学校

地域展開関連の取組・成果

本町においては、公共交通が未発達な状況であり、且つ近隣市町村との地理的な課題があり、活動場所への移動に対して保護者負担の軽減や、生徒の安全な移動に配慮する必要があった。そのため地域展開の取り組みとして**活動場所への移動支援**を行った。また、関係団体との連携を図るため**部活動コーディネーターの配置**も行っている。

移動支援として、対外試合や遠征等を行う際に、申請のもとスクールバスの使用を認め運行業務の支援を行った。また、各部活動間で不公平感がないように、使用制限を設け（対外試合を優先等）クラブ活動に対する生徒の移動支援を行い**保護者負担の軽減と生徒の安全な移動**が図られた。

運営体制図・ロードマップ (自治体独自)



最上町の部活動改革の取組み

活 動 の 様 子

